

BIO Mimetic  
公立千歳科学技術大学  
オープンサイエンスパーク千歳  
共同開催特別シリーズ 第二弾

第3回 地域学：歴史に学び風土が拓く、持続可能な未来  
～古代史から学ぶ持続可能な地域の未来～

今、アフターコロナ・ウィズコロナ時代の自然共生と持続可能な社会のありかたが問われています。本特別シリーズ第三弾では、『地域学：歴史に学び風土が拓く、持続可能な未来』を主題として、持続可能な地域の実現に向けた現状と課題について考えてみます。

自然の豊かな恵と厳しさのなかで人々の営みが培った風土は、その地域に特徴的な社会を形成し産業を生み出し、地域の歴史として紡がれてきました。生態系と人の営みが織りなす風土とその歴史を知ることは地域学の根幹です。産業史や文化史、自然史や地質史など、様々な視点から地域の歴史を紐解き、改めて生態系と人の営みが形作ってきた地域の風土を理解することで、自然の仕組みを学び、自然とともに生きてきた先人の知恵を学び、持続可能な未来への「温故知新」を図ってみませんか。

さらに、人新世とも称され、温暖化に象徴される気候変動、エネルギー・資源の枯渇、生物多様性や自然環境の劣化、が喫緊の課題として問われる現代社会において、地域学によって持続可能な地域の未来へのアプローチを図るためには、持続可能性に向けた3つの視点、「カーボンニュートラル（炭素中立）」、「サーキュラーエコノミー（循環経済）」、「ネイチャーポジティブ（自然回復）」が不可欠です。持続可能な地域の設計図を様々なステークホルダーとともに考える対話（トランスサイエンス）の場を設けることにしました。

特別シリーズ第三弾の三回目では、縄文時代の遺跡であるキウス周堤墓群に注目し、北海道の気候・生態系のなかで自然との共生を可能とした縄文人の営みを垣間見ること、今、私たちが問われている循環型経済への取り組みや、寒冷地における危機管理への取り組みに対して、どのような示唆があるのか、そして持続可能な北海道の未来について考えてみます。

13:30~14:00

「キウス周堤墓群とその縄文社会」

千歳市埋蔵文化財センター 直江 康雄

14:00~14:30

「キウスと循環社会」

リサイクルファクトリー株式会社・

キウス周堤墓群を守り活かす会 副会長 本村 信人

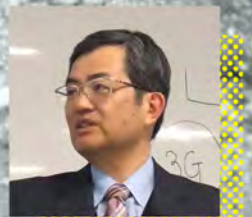
14:30~15:00

「キウスと寒冷地の危機管理 ～日本一低い分水嶺を探しながら～」

公立千歳科学技術大学 曾我 聡起

15:00~15:30

会場との対話と課題抽出



出典：JOMON ARCHIVES（千歳市教育委員会所蔵）

2024年 3月2日(土)

13:30~15:30

北海道大学総合博物館  
3F 北講義室（N308）

主催：北海道大学総合博物館  
バイオミメティクス市民セミナー  
公立千歳科学技術大学地域連携センター  
オープンサイエンスパーク千歳、支那湖デザインプロジェクト  
共催：高分子学会北海道支部  
北海道大学電子科学研究所  
高分子学会バイオミメティクス研究会  
ホトニクスワールドコンソーシアム  
NPO法人バイオミメティクス推進協議会

北海道大学総合博物館  
060-0810 札幌市北区北10条西8丁目  
問合せ先：TEL.011-706-2658 FAX.011-706-4029  
E-mail: museum-jimu@museum.hokudai.ac.jp



現地開催(先着45名) および ウェブ同時配信 併用の  
ハイブリッド方式での開催となります

<https://youtube.com/live/z20mrjRWP58?feature=share>